

n002030 春牧区 岳参り

概要 適用



n002030001) 岳参り風景



n002030002
早朝海砂を採る



n002030003
海水も汲む



n002030004
服を正し一揖



n002030005
加護を祈る



n002030006
お供え物の受領



n002030007
海砂・海水・榊等

【概要】

・岳参りは、岳の神様(一品法寿権現)に詣でる島内各集落で行われる山参り行事で、一時下火になっていたが近年各地区で活発になってきている。

・組織的に行われる山岳信仰としては日本の最南にあたる。

・春牧の岳参りも長らく途絶えていた様だが、〇〇年に登山道と共に復活、以降は毎年行われており、区事務所には「岳参りマニュアル」なる物も存在し、それには以下の手順が仔細に書き記されており、これは今後も受け継がれてゆくものと思われる。

- 1・海水と海砂の準備
- 2・盛久神社参拝・その手順
- 3・前岳登山口における作法手順
- 4・山頂・祠における作法手順
- 5・下山口にて
- 6・盛久神社にておける参拜手順

2015{平成27年}9月23日の記録

- 6:00 区長が動物の足跡のないうちの春田浜に砂と海水を取りに行く
- 9:00 盛久神社にお参りのメンバーが集合、しきたり通りに参拜をする。車に乗り合わせて登山口へ。生憎の雨。
- 9:35 登山口でお清めを済ませ、登山開始
- 11:10 全員登頂。雨。神事を開始する。
- 11:40 本来昼食後に下山だが、雨なので下山開始
- 13:00 全員無事下山 記念撮影
- 13:30 盛久神社に帰還、お参りののち解散。

【写真】



n002030008
登山口に米を盛り、撒く



n002030009
最初の渡渉点



n002030010
最初の渡渉点別角度



n002030011
登山風景1



n002030012
登山風景2



n002030013
登山風景3



n002030014
登山風景4



n002030015
山頂にて蠟燭を灯し、清める



n002030016
二礼二拍手



n002030017
お供え物をし、祈願



n002030018
供えられていた古銭



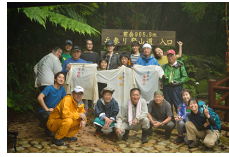
n002030019
山頂の祠

n002030001 メイン岳参り風景
n002030002 夜明け前、動物の足跡のついていない砂浜の砂を取りに行く区長。
n002030003 海水も汲む。竹の筒に入れてゆく。
n002030004 服を正し一揖。参道の正中{真ん中・神の通り道}を避けて入場。
n002030005 賽銭を入れ、金を鳴らし、二礼二拍手、手を合わせ加護を祈る。
n002030006 お供え物の受領米・酒・塩・お賽銭・奉札
n002030007 お供え物の受領 海砂・海水・榊・ろうそく等
n002030008 登山口に米を盛り、撒く。塩も。参加者を清める。
n002030009 最初の渡渉点。
n002030010 最初の渡渉点別角度
n002030011 登山風景1
n002030012 登山風景2
n002030013 登山風景3
n002030014 登山風景4
n002030015 山頂の祠を清掃し、蠟燭を灯し、米・海水・砂を撒き、盛る。
n002030016 二礼二拍手、前年度分の賽銭の撤去
n002030017 本年度分のお供え物をし、祈願。そして、下山。
n002030018 供えられていた古銭が歴史を語る。
n002030019 山頂の祠
n002030020 登山道脇の炭焼き釜
n002030021 記念撮影
n002030022 盛久神社でお参り
n002030023 酒迎はご自宅で、とビールが配られる。



n002030020

登山道脇の炭焼き釜



n002030021

記念撮影



n002030022

盛久神社でお参り



n002030023

酒迎はご自宅で